

平成 17年 4月 22日

各 位

## 株式会社 ヨロズ

横浜市港北区樽町三丁目 7番 60号  
代表取締役社長 志 藤 昭 彦  
(コード番号 7294 東証第一部)  
問合せ先 取締役管理部長 河原 清  
(TEL.045-543-6802)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成16年11月18日中間決算発表時に公表した平成17年3月期(平成16年4月1日～平成17年3月31日)の業績予想を下表の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1.平成17年3月期業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

##### 【連結】

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成16年11月18日発表)	87,500	2,950	1,530
今回修正予想(B)	86,010	2,660	630
増減額(B-A)	1,490	290	900
増減率	1.7	9.8	58.8
前期(平成16年3月期)実績	70,231	2,822	1,970

##### 【単独】

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成16年11月18日発表)	39,720	1,970	1,140
今回修正予想(B)	39,090	1,950	1,190
増減額(B-A)	630	20	50
増減率	1.6	1.0	4.4
前期(平成16年3月期)実績	39,682	1,799	1,484

#### 2.修正の理由

##### 連結

売上高は、鋼材供給の逼迫に伴う減産の影響もあり、単独の売上が前回予想値に対して6億3千万円(1.6%)減収となったことに加え、円高による円価換算額の目減りもあり、14億9千万円(1.7%)減収の860億1千万円の見込みです。

経常利益は、顧客先の値引要請や資材の値上がり等の減益要因をカバーすべく合理化を進めてまいりましたが、前回予想値に対しては2億9千万円(9.8%)減益の26億6千万円となる見込みです。

当期純利益は、前回予想値に対して9億円(58.8%)減益の6億3千万円となる見込みですが、これは、当社の連結子会社であるヨロズアメリカ社と鋼材共同購入契約を締結しているタワーオートモーティブ社が平成17年2月2日付けで米国連邦破産法第11章(Chapter11)にもとづく更生手続きの申し立てを行ったことに伴い、同上契約にもとづく前払金7億9千2百万円を今期に一括償却し、連結決算上、特別損失として計上することとしたことによるものです。なお、当該前払金は、平成16年3月に権利金として8億6千4百万円を前払いし、契約期間(10年)にわたって償却処理を予定していたものであります。

##### 単独

売上高は、前回予想値に対して6億3千万円(1.6%)減収の390億9千万円の見込みです。

利益面では、経常利益が前回予想値に対し1.0%減の19億5千万円となりますが、当期純利益は4.4%増の11億9千万円となる見込みです。

以上